

2012年6月23日（土曜）

霧が峰（1925m）

レポート by 熊本

石井さん（元SMOJ）初デビューの「霧が峰レンゲツツジハイク」に参加したのは、川島さん、布目さん、能勢さん、吉松さん、熊本の6名でした。



新宿 7:0 発のスーパーあずさ1号で、川島、布目、熊本は自由席に乗り、八王子から乗車の能勢さんの席を確保。



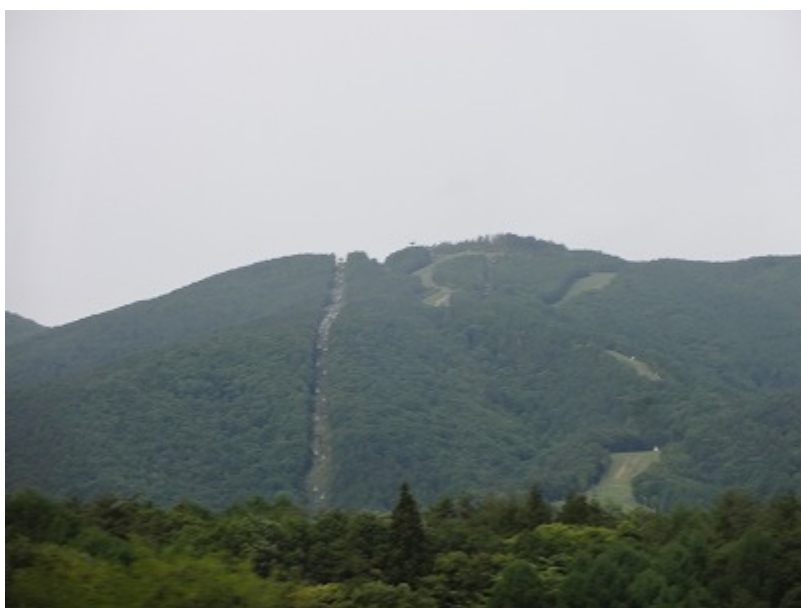
甲府を過ぎると鳳凰三山の地蔵岳オベリスクがハッキリ見えて、川島さんは2週間後の挑戦に武者震いする。



甲斐駒の山頂が雲の上に飛び出している。



八ヶ岳も姿を見せている。



毎年、雪山ハイクで登っている入笠山はもう雪はなくゲレンデは芝生だ。



9:08 に茅野駅に到着。
2 番バス乗り場に並ぶ。右から二人目が
今回初登場の石井さん。



9:35 茅野駅発のバスで車山へ出発。
白樺湖付近から見た蓼科山。



車山高原付近のレンゲツツジ。



車山高原からバスの車窓には八ヶ岳や
南アルプスが良く見える。
写真は南アルプスで再右端から仙丈岳、
甲斐駒。



10:37 車山肩に到着、ここで下車。



車山肩の登山口にはバイオトイレが設置されている。



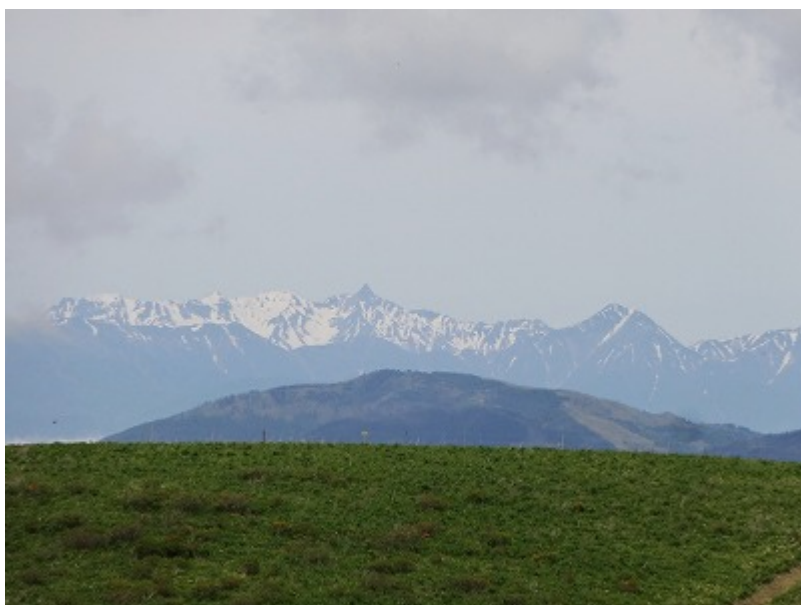
ストレッチ体操して登山準備を整え、出発準備。



緩やかな砂利道の登山道に行く。



途中、北アルプスの展望が良く、カメラを向けて何枚か撮る。



槍ヶ岳が良く見える。
この時期は蒸気が上がり、それによるモヤで遠望は殆ど利かないのだが、今日はクリアに見える珍しい。



木曾御嶽山は中央アルプス、北アルプスから独立して存在感を誇示しているようだ。



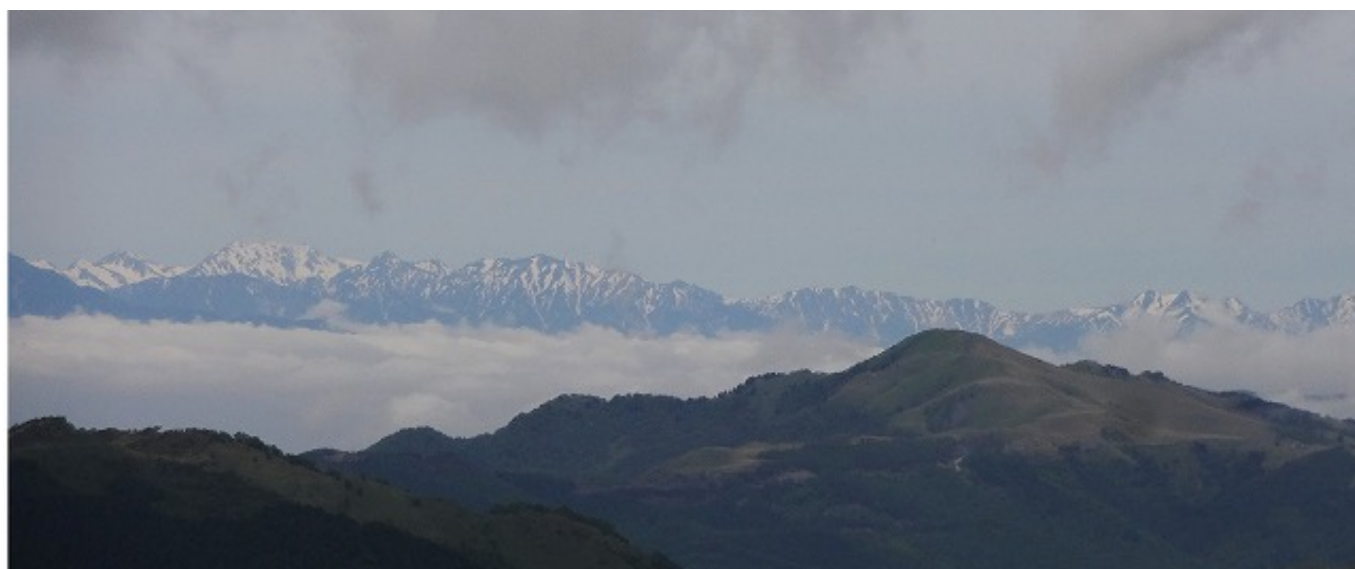
車山山頂へ向かう中腹のレンゲツツジ。



11:30 車山山頂（1925m）に到着



山頂で全員記念写真を撮る。
山頂からは 360 度の展望で、南、中央、
北アルプスの山並みが全部見渡せた。
この気温の高い時期でラッキーだった。
まだ時間は早いので、ここで昼食を取ら
ず、蝶々深山まで行く事にする。



車山山頂から北アルプスを見渡す。



左の穂高岳、大キレットを挟んで右の槍ヶ岳がよく見えた。



車山山頂から、前方に白樺湖を見ながら一旦下る。



下りの斜面のレンゲツツジは斑で蕾が多くまだ時期が早そうだ。



下り切って、車山湿原に降りる。



矢張り、レンゲツツジはまだ早い。



車山湿原の木道を行く。



車山湿原から約 20 分の登りで、
蝶々深山（1839m）山頂に着く(12:30)。
ここで 360 度の展望をおかずに昼食。



蝶々深山山頂（1839m）で記念写真を撮る。



12:50 下山開始。



大きな石が重なった登山道を注意しながら下山。



分岐点までもどり、車山肩の方向に向かう。



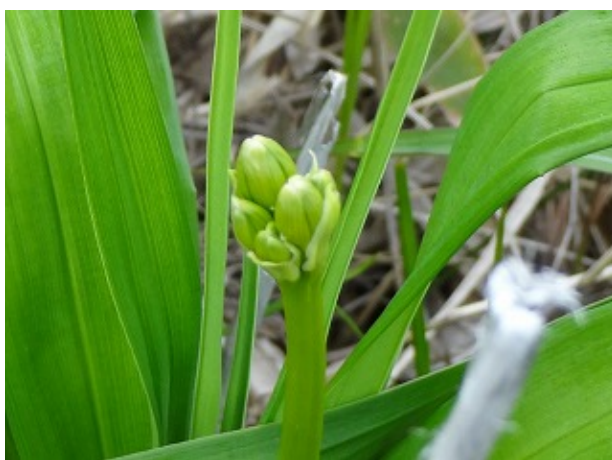
車山肩に近づくともレンゲツツジが増えてきた。下記は車山湿原で目にした高山植物。



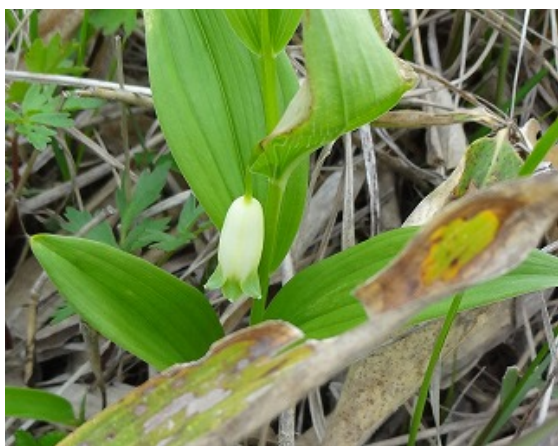
ワタスゲ



スミレの一種



ニッコウキスゲに芽吹き



アマドコロ



スミレ



レンゲツツジ



スミレ



車山肩から少々下がったところには満開のレンゲツツジ群生地があり何とか今回の目的が果たせた。



レンゲツツジを背景に一枚。



車山肩に戻り後は温泉が待っている。



上諏訪行のバスを待つ。



バスで上諏訪駅着 15:07。
駅から徒歩 10 分にある日帰り温泉
「片倉館（千人風呂）」に入る。



温泉入浴後は恒例の「生」で乾杯。
旨ーい！



上諏訪駅の上り線ホームに足湯がある。



列車の待ち時間で約 20 分足湯に浸かる。
温泉は熱く、全身がポカポカになり、
電車に乗り込む。



スーパーあずさ 28 号の自由席は空いて
おり、車内宴会はまだまだ続く。
初デビューの石井さんもクマさん会
Tシャツを着こんで満足そう。



八王子で能勢さん、石井さん、吉松さんとお別れし、布目さん、川島さんと熊本は新宿で解散。

車山山頂から南、中央、北アルプス、遠くの戸隠や浅間山等 360 度の展望が見られたこと、また今回の目的であった「レンゲツツジ」も最後の車山肩付近で満開の群生に出合い満足の日でした。